

未来に躍動する魁のまちを 市民とともにつくる

さきがけ

これからのまちづくりの基本方針の概要と、その実現に向けた令和5年度の主な事業、予算について紹介します。
問合せ／基本方針については政策企画課(☎232・9104)、
「みとっこ未来パッケージ」についてはこども政策課(☎232・9176)

市政運営に関する 基本方針

令和5年第1回水戸市議会定例会で、高橋靖 水戸市長は、市政運営についての所信を明らかにしました。
※「みとっこ未来パッケージ」の主な施策を、ページ下部に示しています。

市民の皆様とともに策定し、実現を目指してきました水戸市第6次総合計画「みと魁プラン」が、令和5年度にいよいよ最終年度を迎えます。私は、これまで求めてきた市民の今の暮らしの安心はもちろん、次の世代においても安心を実感していただけの未来を創ることに、全力を尽くしていきます。

未来を創る子どもたちを 育む

水戸市は、国に先駆けて昨年4月にこども部を新設し、子育て支援の充実とあわせ、出生数の回復に向けた施策の検討を進めてきました。
現在、人々の価値観が変化し、ライフスタイル、家族のあり方なども多様化することで、子どもを生み育てるということについても、さまざまな考え方で多様な選択がなされるようになっていきます。私は、その選択は尊重されるべきとの考え方に立った上で、経済的な事情や、相談相手がいらないといった不安を理由として、子どもを生み育てたくてもそれをかなえられない、思いどまってしまうという状況については、行政が手を差しのべて解消していかなければならないと考えています。
そのため、これまでの子育て環境の整備はもちろんのこと、安心して子どもを生み育てることができるよう、新たに本市独自の「みとっこ未来パッ

こども育つまち・みと「みとっこ未来パッケージ」の主な施策

経済的負担の軽減

新 小・中学校新入生
応援金の支給
1億4,530万円

小・中学校に入学する年齢の子どもたちの学びの環境を整えるため、1人当たり3万円の応援金を給付します。

新 中学校給食費の
無償化
3億1,200万円

市立中学校の給食費を無償化します。

新 多胎妊娠の
妊婦健診助成事業
76万6千円

妊婦健診助成(14回まで)に加え、新たに5回まで健診費用を助成します。

拡 不妊治療(生殖補助
医療)支援の拡充
3,257万円

全ての治療が保険適用外となる場合の補助を拡充します。

新 …新規事業

拡 …拡充事業



高橋靖 水戸市長



市政運営に関する基本方針は、
市ホームページに掲載しています。

ケージ」を打ち出し、子育て世帯の「経済的負担の軽減」と「相談・支援の充実」を図ることとしました。

経済的負担を軽減する新たな取り組みとしては、小・中学校入学に当たっての新入生応援金の支給、中学生の給食費の無償化などに取り組むこととし、しっかりと子育て世帯の暮らしを支えていきます。

相談・支援の充実としては、課題を抱える家庭を孤立させないよう、それぞれの家庭に寄り添うフォローアップ体制の強化、こども・子育て関連手続のDXなどに取り組んでいきます。

あわせて、教育環境の充実に向けて、水戸スタイルの教育を推進し、本市ならではの教育プランの展開を図るとともに、学校施設の長寿命化などにも取り組みながら、未来を創る子どもたちの生きる力を育てていきます。

若い世代に選ばれるまちの ビジョンを描く

私は、子育て環境の充実を図ることはもちろん、若い世代が魅力を感じる多様な働く場があり、さまざまな働き方を地域全体で応援するまちをつくりあげてまいりたいと考えています。そのため、企業誘致による雇用の創出をはじめ、キャリアアップ支援などにもしっかりと取り組むとともに、スター

トアップ支援にも力を注ぎ、若い世代がチャレンジでき、チャンスを生かせる環境を整備していきます。

また、多くの若者が水戸で安心して働き、その活躍が産業の発展をけん引する、活力あふれるまちをつくるためには、健康づくり、医療、福祉、防災などが充実した、人々が安心して暮らせる環境も必要不可欠です。

市民一人一人の主体的な健康づくり活動を支援するとともに、公的病院等の維持や医療従事者の確保などにも取り組みながら、医療や介護予防、生活支援などが連携した地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。あわせて、浸水被害対策の推進、避難所体制の充実など、更なる防災・減災対策の強化に努めていきます。

これらの子育て支援の充実、経済の発展、安心できる環境づくりの三つの取組の好循環を生み出し、若い世代から選ばれるまちとしていくことで、全ての市民が明るい未来を展望できる都市づくりを推進していきます。

私は、このような考え方に立ち、水戸市の更なる発展に向けた第7次総合計画を、新たな都市づくりのビジョンとして、市民の皆様とともに描いてまいりたいと考えています。引き続き、水戸に住む全ての人が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを実現するため、全力を尽くしてまいります。

相談・支援の充実

新

子育て世帯訪問支援事業 1,457万2千円

満1歳未満の子どもを持つ、子育てに不安を抱える世帯などを訪問し、家事や育児を支援します。

拡

結婚新生活の 支援の拡充 3,000万円

結婚に伴う住宅取得費用などの補助を拡充します。

新

こども・子育て関連 手続などのDX 540万円

子育てに関連する手続の負担を軽減するため、LINEを使った保育所入所申込作成システムや、子育て支援アプリの導入・活用など、申請手続などのデジタル化を進めます。

新

出産・子育て応援ギフト 支給、伴走型相談支援 2億1,870万円

妊娠時に5万円、出産後に子ども1人当たり5万円を支給するとともに、伴走型の相談支援を実施します。

拡

放課後児童の居場所づくり 5億6,197万4千円

待機児童ゼロの継続に向けた放課後学級の増設を行うとともに、専用棟にWi-Fi環境を整備します。

令和5年度水戸市の予算

問合せ／財政課(☎232・9131)

令和5年度予算は、「みと魁ブランの推進」「子育てしやすいまちづくりの推進」「安全・安心を実感できるまちづくりの推進」「経済が発展するまちづくりの推進」「デジタル変革(DX)の推進」「持続可能な財政基盤の確立に向けた行財政改革等の推進」という6つの基本方針のもと編成しました。

特に、子育て世代から選ばれるまちを目指し、子どもを安心して生み、育てることができるよう、これまで以上に、子ども・子育て支援施策へ、予算の重点化を図りました。

また、行政手続のDX、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進するとともに、本市の更なる飛躍を目指し、7月に開館する水戸市民会館を拠点とした中心市街地の活性化、企業立地の促進など、地域経済の発展に資する施策を積極的に展開することとしました。

市の会計

地方公共団体の会計には、一般会計、特別会計、公営企業会計があります。

▼一般会計

教育や福祉などの市民サービスのほか、公共施設の維持管理、道路など生活基盤の整備等、市の基本的な行政運営の経費を経理します。

▼特別会計、公営企業会計

特定の事業を行うために目的別に会計を設け、個別に経理して、受益と負担の関係を明らかにしています。

予算総額

2,028億3,540万円

(前年度比2.2%減)

一般会計 **1,174億7,000万円**
(前年度比5.6%減)

特別会計 **543億 840万円**
(前年度比0.6%増)

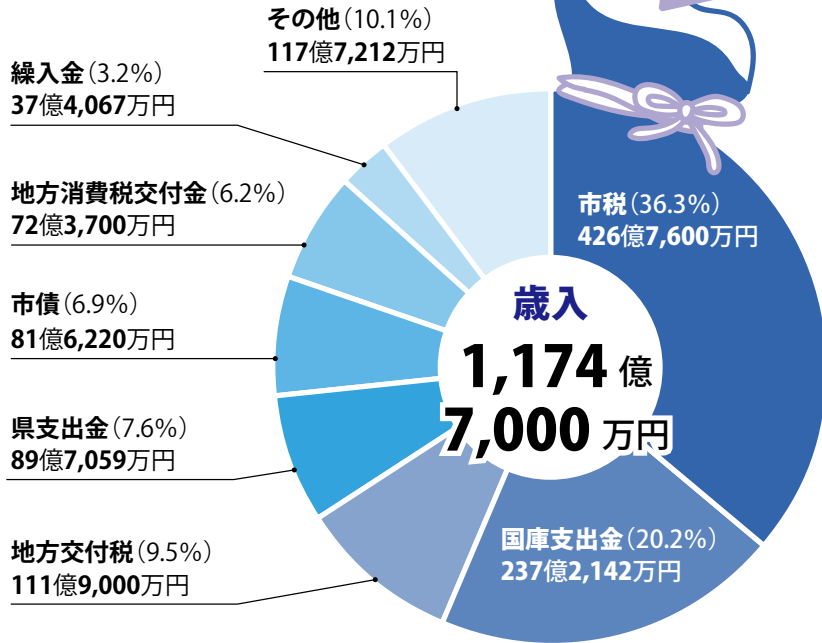
公営企業会計 **310億5,700万円**
(前年度比7.2%増)

各会計の予算と前年度との比較

(単位：千円)

会計	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率(%)
一般会計	117,470,000	124,472,000	△7,002,000	△5.6
特別会計	54,308,400	53,975,800	332,600	0.6
国民健康保険会計	22,978,000	21,743,000	1,235,000	5.7
公設地方卸売市場事業会計	1,173,000	940,000	233,000	24.8
駐車場事業会計	201,000	803,000	△602,000	△75.0
農業集落排水事業会計	—	786,000	△786,000	皆減
東前第二土地区画整理事業会計	204,000	260,000	△56,000	△21.5
公共用地先行取得事業会計	214,700	450,700	△236,000	△52.4
介護保険会計	25,233,000	24,756,000	477,000	1.9
介護サービス事業会計	69,700	58,100	11,600	20.0
後期高齢者医療会計	4,224,000	4,167,000	57,000	1.4
母子父子寡婦福祉資金会計	11,000	12,000	△1,000	△8.3
公営企業会計	31,057,000	28,958,000	2,099,000	7.2
水道事業会計	11,196,200	10,534,300	661,900	6.3
下水道事業会計	19,860,800	18,423,700	1,437,100	7.8
合計	202,835,400	207,405,800	△4,570,400	△2.2

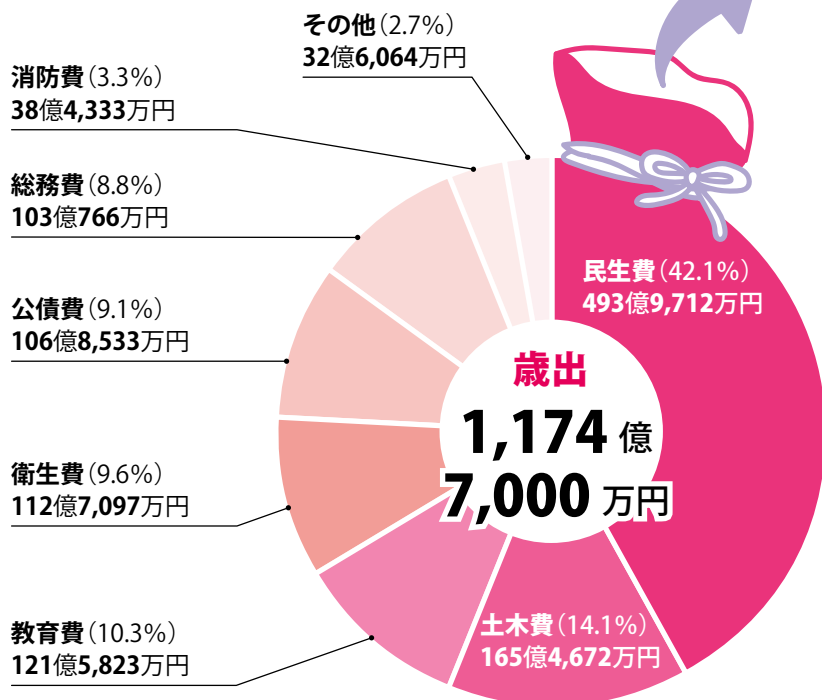
一般会計の歳入



用語の解説／歳入

- 市税** 市民税(個人・法人)や固定資産税など
- 国庫支出金** 特定の事業に対する国からの負担金や補助金など
- 地方交付税** 一定水準の行政サービスを提供できるように、国から配分される交付金
- 県支出金** 特定の事業に対する県からの負担金や補助金など
- 市債** 国や銀行などからの借入金
- 地方消費税交付金** 地方消費税を財源として、人口などに応じて配分される交付金
- 繰入金** 基金や特別会計から繰り入れる資金
- その他** 分担金及び負担金、使用料及び手数料など

一般会計の歳出



用語の解説／歳出

- 民生費** 社会保障費や福祉施設の整備運営などの経費
- 土木費** 道路、公園、市営住宅などの整備や維持管理経費
- 教育費** 小・中学校の整備運営や、生涯学習、スポーツ振興などの経費
- 衛生費** 保健所の運営、健康診査や予防接種、ごみの収集・処理などの経費
- 公債費** 公共施設の整備などの財源として借入れた市債の返済経費
- 総務費** 市の行政運営、市民センター、防災対策、収税、選挙などの経費
- 消防費** 消火や救急などの経費
- その他** 議会費、労働費、農林水産業費、商工費など

◀◀◀ 次のページでは、令和5年度当初予算の主な事業を部門別に紹介します。

令和5年度当初予算 主な事業(部門別)

「みとっこ未来パッケージ」については、2・3ページをご覧ください。

○新…新規事業

議会部門

- 新 議会のICT化に向けたタブレット端末の購入
……392万7千円

企画総務部門

- 公共交通空白地区における水都タクシー運行事業
……3,360万円
利用時間の1時間拡大
- 新 行政手続のDXによる市民サービス向上
……3,380万円
転出入や保育所入所申込などの手続のDXを推進

市民協働部門

- 市民センター長寿命化改修事業……2億1,220万円
渡里市民センター改修工事、吉田市民センター・石川市民センター実施設計
- 災害備蓄物資の充実・強化……1,700万円
- 防犯灯管理補助金の拡充
……2,304万円
- 新 市民会館開館記念事業
……3,000万円



生活環境部門

- 自立・分散型エネルギー設備導入促進事業
……2,000万円
太陽光発電システム設置補助金の拡充、蓄電池設置補助金の新設
- 新斎場整備事業……19億8,080万円
令和4～6年度継続事業

福祉部門

- 子どもの学習・生活支援事業の拡充……1,900万円
利用者の増加を図るため会場を増設
- 障害者相談支援体制の強化……8,780万円
- いきいき交流センターあかしあ整備事業
……2億7,710万円
令和3～5年度継続事業

保健医療部門

- 新 高齢者の保健事業と介護予防などの一体的実施
……1,125万1千円
- 女性特有のがん検診の充実……495万円
- 子宮頸がん予防接種事業
……1億5,485万円
- 新 寄附金を活用した動物愛護推進事業
……160万円



産業経済部門

- 企業立地促進事業……3億1,400万円
施設整備費用に対する補助や固定資産税の課税免除など
- 新 全国商工会議所観光振興大会開催支援
……500万円

都市建設部門

- 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業……2億6,000万円
- 内原駅周辺地区整備事業……6億8,820万円
- 国補街路整備事業……13億5,600万円
都市計画道路の整備(3路線)
- 子育てまちなか住宅取得事業……3,100万円
まちなかにおける子育て世帯の住宅取得支援の拡充

消防部門

- 南消防署緑岡出張所改築事業……2億130万円
令和5～7年度継続事業

教育部門

- 学校部活動における外部人材の活用……1,579万6千円
部活動指導員を配置するとともに、休日の部活動の段階的な地域移行に向け、コーディネーターを配置
- 小学校校舎長寿命化改良事業……4億2,050万円
石川小学校の工事、寿小学校の先行工事、妻里小学校の実施設計
- 新 酒門小学校校舎増築事業……3,630万円
実施設計
- 学校施設の緊急安全対策事業……2億3,000万円
- 新 学校施設バリアフリー化推進事業……1,900万円



水道部門

- 水道施設耐震化事業……16億2,382万4千円
基幹管路や浄水施設の耐震化の推進
- 老朽施設更新事業……20億3,217万3千円

下水道部門

- 新 管渠建設改良事業……29億8,283万3千円
幹線・枝線工事
- 処理場建設改良事業……15億5,315万5千円

予算に関する詳細は、市ホームページの「予算の概要」に掲載しています。

